

No. 1346

25歳の戦力

— 自衛隊観閲式 —

自衛隊の創立を記念する54年度中央観閲式が10月28日埼玉県朝霞市の陸上自衛隊、朝霞訓練場で行われた。式典では大平首相が観閲官として出席、栄誉礼を受けたあと参加各部隊を巡閲。大平首相は「不安定で流動的な国際状況の中で、わが国は日米安保条約を誠実に履行しながら自ら真剣で周到な防衛努力が必要」と訓示。つづいて陸上自衛隊音楽隊を先頭に防衛大学生、普通科部隊、空挺部隊など約5200人が力強くパレード、空からはF4ファントム戦闘機、ヘリコプター部隊が観閲飛行。徒歩部隊に続いて車輛部隊の行進。155ミリ加農砲、多連装ロケット、対空誘導弾ナイキJなどが次々に登場。昭和29年発足以来25年目を迎えた自衛隊、保守革新の長い憲法論争のなかで今や隊員数26万を超えるまでに成長した。

バイクにかける夢

オートバイが砂塵をまき上げ疾走する。スピードとテクニックを競うモトクロスレース。東京八王子市に住む杉山さん一家のライフスポーツはモトクロス。一家4人全員がオートバイを楽しんでいる。小学生の深雪ちゃんと貴礼くんはオートバイを始めてまだ半年たらず。今日は近く行われるチビッ子だけのレースの練習にやってきた。杉山さんは2人にオートバイを始めさせたことについて「大きくなれば自然に乗るのでその前に練習させて、オートバイのほんとうのこわさを教えた」と話す。2人はオートバイに乗るようになってから、肉体的にも精神的にもずいぶん成長したという。今日は子供たちのモトクロスレースの日。全国各地からチビッ子ライダーがやってきた。2人も愛車を持って会場に到着。チビッ子たちのオートバイもスタイルも大人顔負けの立派なもの。レース前、父親の喜捷さんは深雪ちゃんに最後の指示、いよいよ2人は両親の声援に送られてレース場へ、レースは距離500mのコースをを15分間まわる。一斉にスタート。チビッ子でもテクニックは抜群。見事なランデブを披露、クラスの下の2人は一番最後、それでも一生けんめい走る。2人は泥と汗にまみれて両親のもとに戻ってきた。今日の経験は2人にとってまたひとつの前進。一家のバイクにかける夢はふくらむ。